

目的

世界的に増加・深刻化する海洋プラスチックごみ問題。日本国民はもとより、世界中で全世代的に認識を高め、排出を抑制していく必要がある。明確で効果的なアクションとしてのスポGOMIを実施する。また、スポGOMIと各種競技等を掛け合わせることで更に新たな層の参加者にアプローチを行い、海洋ごみに対する意識啓発・発生抑制を目的とする。

例えば国内人口が5400万人のeスポーツ、2681万人のサッカー、929万人のバスケット等のスポーツを掛け合わせ、スポーツ業界にスポGOMIを拡大し、より多くの団体/個人が主体となってスポGOMI開催していくことを目標とする。さらにスポGOMI初参加の方々がスポGOMI甲子園、ワールドカップへの出場促進を目的とする。

目標

2023年度に開催されたスポ GOMIワールドカップの機運をそのままに、更なるスポ GOMIの広がりを国内で見せていきたい。

すでに開催実績のある eスポーツ×スポGOMIを基盤にその他のスポーツ(アスリート)と掛け合わせたスポ GOMIを10大会開催を行う。その中でアスリートとスポ GOMIを掛け合わせる方法を模索しながらより多くの属性の人々に海洋ごみ問題と向き合う機会を創出する。

<数値目標>

- ・計10大会開催し、各大会で参加者 70名、観覧者 20名を目指し全 10大会で参加者 700名、観覧者 200名を目指す。
- ・本事業への協賛獲得 20社を目指す。
- ・開催されているスポ GOMI甲子園やスポ GOMIワールドカップの情報を発信し、別のスポ GOMIイベントへの参加を促す。
- ・昨年の国内大会以上の参加数を目指し、機運の高まりを実感できる状態にする。
- ・メディア 10社と提携を組み、情報の発信を行なっていくことで、スポーツ業界への認知を増やし、初めて参加する人数と層を拡大していく。

2024年度実施内容のまとめ

実施①



スポGOMI in 平城京天平楽
秋の散楽フェスタ(奈良)

実施②



eスポGOMI in 石川

実施③



eスポGOMI in 山口周南

実施④



スポGOMI×サッカー in
月の輪自動車教習所(滋賀)

実施⑤



スポGOMI×ハンドボール in 沖縄

実施⑥



eスポGOMI in 徳島

実施⑦



eスポGOMI in ウミガメ産卵地・青
島海水浴場(宮崎)

実施⑧



eスポGOMI in 長野

実施⑨



eスポGOMI in 栃木

実施⑩



eスポGOMI in 宮城

量的成果(事業の拡がり)

- ① 総参加者数 464人、総観覧者数560人
- ② 拾ったごみの総量 約296.246kg
- ③ メディア露出量 35社
- ④ 応援・後援企業団体合計43社

質的成果(次なる展開への芽)

- ① 参加者のポジティブな反応・声が多かった
- ② イベントに賛同し精力的に動いてくださる事業者が多かった
- ③ イベントに賛同し来年度への開催に期待する声が多かった

2024年度 課題点

- ① スポGOMIワールドカップ及びスポGOMI甲子園事業との連携(開催エリアの選定に大きく影響を与える)
- ② 協力事業者および自治体の連動(開催エリア数の拡大、協賛企業営業の強化)
- ③ 応募期間に余裕を持った集客・メディア連携のさらなる強化(集客及び協賛企業に大きく影響を与える)

2025年度 改善点

- ① 企画連動がしっかりと行える運営体制及び連携体制の強化
 - ▷ 開催が必要なエリアに対するアプローチ方法が限られてしまうため計画的に実施計画を落とし込んでいく
- ② 協力事業者および自治体と連動するための事前準備期間を追加1ヶ月程度を設けることによるさらなる強化
 - ▷ 協力事業者の選定までは時間はさほどかからないが、自治体まで連動させるためには申請に時間を要する
- ③ 異分野との掛け合わせもあり地方メディアからの注目度は非常に高まっていたため、そこを活用したさらなる集客期間の設計をすることで改善を狙う



受付の様子。参加者の出席確認、備品(ゴミ袋・ビブス・軍手・トンガ等)の受け渡しを行います。



ゴミ拾いをしている様子。前半戦・後半戦に分かれることで、参加者らの気合にも変化が見られます。



計量の様子。燃える、燃えない、ビン・缶、ペットボトル、たばこの吸い殻の順番で計量を行います。



eスポGOMIのゲーム大会の様子。実況も相まって、声援が飛び交います。老若男女大盛り上がり！



ドッジボール体験(的当て)の様子。身体を使った遊びは子どもも大人も楽しめる良さがありました。



表彰式の様子。スポGOMIワールドカップへの出場意欲を示してくれるチームが沢山いました。

スポGOMI in 平城京天平祭 秋の散楽フェスタ のまとめ

達成率

受益
者数

参加者数: 74%
観覧者数: 500%

メディア

1社
(各イベント1社以上目標)



量的成果(事業の拡がり)

- ① 参加者数 52人、観覧者数100名程度
- ② 拾ったごみの総量 約9.108kg
- ③ メディア露出量 1社
- ④ 協賛(協力)・後援企業団体合計9社



感想

告知から開催までの日程がおよそ1ヶ月しかなかったにもかかわらず52名の参加者が集まり、同時に開催されているイベントに来てくれる方からも注目を集める活動となった。事前告知を行う期間があればさらに集客を見込めた。
協力企業も多く参画し、スポGOMIワールドカップの周知にも大きく繋がった。

来年以降

質的成果(次なる展開への芽)

- ① 参加者のポジティブな反応・声が多かった
- ② イベントに賛同し精力的に動いてくださる事業者が多かった
- ③ イベントに賛同し来年度への開催に期待する声が多かった



海なし県でもある奈良の地でスポGOMIを行う意義をさらに明確化し、海がなくとも海洋ごみ問題について考えられるような仕掛けを行う。また今回はラジオ出演を限られた時間の中で行えたが、より多くのメディア露出も獲得できるようにメディアアプローチにも力を入れ取り組む。

協賛および後援 企業一覧

テレビ露出

媒体・番組名

アール・エフ・ラジオ日本(ラジオ日本)「ミヤシタ ファーム」

日時

2024/10/01



eスポGOMI in 石川のまとめ

達成率

受益者数

参加者数:51%
観覧者数:250%

メディア

5社
(各イベント1社以上目標)



量的成果(事業の拡がり)

- ① 参加者数 36人、観覧者数50名程度
- ② 拾ったごみの総量 約28.7kg
- ③ メディア露出量 5社
- ④ 協賛(協力)・後援企業団体合計3社



所感

大雪予報の影響もあり参加者のキャンセルが続いてしまったが、福井県在住の方が次回以降の参加の意思をNS上で発信してくれるなどインパクトを与えられた大会となった。またメディアアプローチをうまく行えたこともあり、5社の誘致ができるなど次回以降にも連動可能な関係値を構築することができた。



来年以降

質的成果(次なる展開への芽)

- ① 参加者からの継続開催の声が非常に多かった
- ② イベントに賛同し精力的に動いてくださる事業者が多かった
- ③ eスポーツ活用型環境保全活動に連動したい企業が多かった



協力企業の株式会社アイ・オー・データ機器様からも非常に大きな反響があり、次回開催に向けたやり取りを既に開始している。今回課題となった開催の時期(冬季)をしっかりと見定め事前作り込みから行う。参加者からも定期開催を望まれているため、新規参加者も巻き込みながら固定で参加いただける土壌作りを行う。

協賛および後援 企業一覧

株式会社アイ・オー・データ機器／株式会社Life Reversal Gaming./株式会社BCN

テレビ露出

媒体・番組名	日時
BCN eスポーツ部(イベント告知)	2024/12/04
北陸中日新聞	2024/12/15
BCN eスポーツ部(イベントレポート)	2024/12/24
石川テレビ放送「石川さん Live News イット!」	2024/12/25
北陸放送「Atta+」	2024/12/25

▼北陸中日新聞

「ごみ拾いで集めた量や種類を競う「スポGOMI」とeスポーツを組み合わせた催しが14日、金沢市桜田町のアイ・オー・データ機器のビル周辺であった。市民ら12チーム36人が参加し、楽しみながら身近な環境問題への関心を深めた。

スポGOMI×eスポーツ 12チームが参加 ポイントを競う



ごみを拾う参加者
＝金沢市桜田町で

参加者は、「ごみ袋とトンネル」を手にビル周辺の公園などを回り、たばこの吸い殻や空き缶を拾った。いったんビルに戻ると、ビデオゲーム「ぶよぶよeスポーツ」で対戦。上位チーム

お知らせ

に「ごみ拾いが有利になるアイテムが渡されると、再びごみ拾いに向かった。家族3人で参加した小学4年の滝俣夏さん(10)は「街中は意外と汚くてびっくりしたが、ごみ拾いでポイントがたまっていくのが楽しかった」と話した。スポGOMIは、ごみ拾いを競技化した日本発祥のスポーツ。今回は、日本財団「海と日本プロジェクト・CHANGE FOR THE BLUE」の一環で開催された。(河野晴気)

▼石川テレビ放送 「石川さん Live News イット!」



▼北陸放送「Atta+」



▼BCN eスポーツ部(告知 & レポート)

大会情報 2024.12.04

石川県初「eスポGOMI」！会場は金沢市のアイ・オー・データ機器 第2ビル

大会イベント お知らせ

記事シェア

ソーシャルスポーツイニシアチブとアイ・オー・データ機器は12月14日、eスポーツとごみ拾いを掛け合わせた環境保全イベント「eスポGOMI in 石川」を開催する。eスポGOMI開催は石川県では初めてのことで、会場は金沢市にあるアイ・オー・データ機器 第2ビルで、運営制作にはSOCIAL GOOD ENTERTAINMENTが参加する。



大会レポート 2024.12.24

ぶよぶよ連戦でごみ拾い王者を目指せ！「eスポGOMI in 石川」レポート

大会イベント お知らせ

記事シェア

アイ・オー・データ機器とソーシャルスポーツイニシアチブは12月14日、石川県で「eスポGOMI in 石川」を開催しました。運営制作にSOCIAL GOOD ENTERTAINMENTを迎えて開催された同イベントには、金沢市を中心に12チーム36人が集まり、ごみ拾いeスポーツで盛り上がりました。



eスポGOMI in 山口周南のまとめ

達成率

受益
者数

参加者数: 42%
観覧者数: 400%

メディア

3社
(各イベント1社以上目標)



量的成果(事業の拡がり)

- ① 参加者数 30人、観覧者数80名程度
- ② 拾ったごみの総量 約22.833kg
- ③ メディア露出量 3社
- ④ 協賛(協力)・後援企業団体合計5社



質的成果(次なる展開への芽)

- ① 参加者のポジティブな反応・声が多かった
- ② イベントに賛同し精力的に動いてくださる事業者が多かった
- ③ イベントに賛同し来年度への開催に期待する声が多かった



所感

インフルエンザの流行により、当日キャンセルが組発生した。集客には時間はかけられたが周知の仕方にもう少し工夫を凝らす必要性を感じた。しかし当日のeスポーツの様子映し出されると、興味を持った学生や会場周辺にいたご家族が声をかけてきてくれるなど、80名程度が観覧をする様子も見られ、次回以降の可能性を見出すことができた。

来年以降

今回、山口放送様のご協力もあり、メディア露出社と良い動きが取れた。また、地域清掃団体が興味を示し参加をしてくれている様子から、企業や団体の巻き込みがあるとさらなる反響を得られることも実感したため、企業への呼びかけも次回以降の取り組み課題とする。

協賛および後援 企業一覧

株式会社ラップ / 株式会社Life Reversal Gaming / 周南市 / 山口放送株式会社 / 株式会社BCN